

## 予算特別委員会 質疑応答

### 児童館と放課後プレイスクールについて

#### (1) 児童館整備や放課後プレイスクール事業の実施が進まないのはなぜか。

- ◎ 児童館整備については、過去、年間3館から4館整備していた時期もあったが、現在本市の厳しい財政状況のなか、現状では1年に1館の整備。
- ◎ 放課後プレイスクール事業についての事業説明及び実施状況一・計画。
- ◎ 放課後プレイスクール事業の実施にあたっては、運営スタッフの確保や実施場所となる小学校施設の活用等について、地域及び小学校との調整において困難な場合もある。

#### (2) どうすれば児童館の早期整備ができるのか。

- ◎ 本市の厳しい財政状況のなか、今以上に新築整備を進めることは困難。
- ◎ 今後とも、新築整備のみならず学校施設整備時の合築や近隣の公共施設の活用等についても積極的に取り組んでいきたい。

#### (3) 昭和56年以前に建築した児童館は何館あるのか。また、耐震診断をした児童館は何館あるのか。

- ◎ 現在の新耐震設計基準が制定された昭和56年以前に建設された児童館は31館ある。
- ◎ このうち、市営住宅との合築施設である江波児童館について、平成20年度に耐震診断を行っています。

#### (4) 児童館で進んでいないのはなぜか。子どもの安全の観点からは早急に対応すべきではないのか。

- ◎ 本市では、「災害に強いまちづくりプラン」に基づき、現在最も緊急性の高い防災拠点となる施設から順に耐震化を実施している。
- ◎ 児童館は、このプランにおける防災拠点施設として位置づけられていないこともあり、現時点では1館を除き耐震化対策を行うに至っていない。
- ◎ 現状では、緊急に対策を講ずる必要のある小学校施設等の耐震診断、改修等を優先的に進めている状況にあり、児童館については今後の財政状況を見ながら、耐震対策に取り組んでいきたい。

#### (5) 新築整備も必要だが、一方で老朽化した児童館の安全対策も必要である。老朽化した児童館の整備についてはどのように考えているのか。

- ◎ 児童・生徒の安全確保に支障の出ることのないよう、基本的には、建築年度の古い児童館を優先して、状況に応じて順次補修を実施している。
- ◎ 児童館の整備については、児童館未整備学区への整備を優先的に考えているが、老朽化が著しい児童館においては、緊急度に応じて財政状況も考慮しながら、今後対応について検討していきたい。